

平成 29 年度 (2017) 公益財団法人出雲市芸術文化振興財団事業報告

I 概況

出雲市芸術文化振興財団は、平成 25 年 4 月 1 日に公益財団法人となって以来 5 年目に入り、芸術文化の振興を目的として公益事業の推進に一層取り組むとともに、法人改革の狙いの一つである「民による公益の増進」を根底に据え、芸術文化振興事業や、博物館事業において、また、文化施設の貸館事業においてそれぞれ着実にその成果を残してきました。

芸術文化振興事業において、第 23 回を迎えた出雲総合芸術文化祭事業では、伝統文化の継承発展を目的とし好評を博した「万作の会」狂言公演、古典落語の春風亭昇太独演会など多彩な事業を展開する一方、出雲芸術アカデミーでは、文化庁が推進する「劇場・音楽堂等の活性化事業」の助成を活用し、芸術文化活動を担い支える人材の育成や、子どもから大人まで多くの市民に楽しんでいただけるよう事業の充実を図るなど、「音楽のまち 出雲」の一翼を担ってまいりました。「出雲の春音楽祭」では、昨年引き続き 2 週にわたってオペラハイライトや、連作交響神楽及び邦楽合奏、出雲讃歌合唱など、出雲ならではのオリジナルな音楽祭を開催したところであります。

また、博物館事業においては、出雲文化伝承館、平田本陣記念館それぞれの持ち味とスケールメリットを活かし、連携した企画展示などを行ったほか、伝承館で、津山市、諫早市との「三市交流展」を初めて開催し、事業の充実を努めてまいりました。

他方、施設管理業務においては、指定管理者として出雲市民会館、ビッグハート出雲、平田文化館、大社文化プレイスうらら館など 4 つのホール系施設、出雲文化伝承館、平田本陣記念館など 2 つの展示系施設合わせて 6 施設の管理とともに大社図書館の施設管理を別途受託し、出雲市の文化施設及び教育施設を管理運営してまいりました。

当財団では、市における平成 27 年 10 月の条例改正に伴う使用料改定後、平成 28 年 4 月 1 日から各施設毎に施設管理規程（管理マニュアル）を定め、利用料の減免が受けられる場合など具体的に当財団のホームページに掲載し利用者の利便性向上に努めているところであります。

当財団は、引き続き出雲市における芸術文化の振興、発展に貢献する公益事業を展開するとともに、事業と施設が一体となり、また、それぞれの地域のニーズに柔軟に応え、地域の文化力向上に努めてまいります。

II 公益目的事業

1. 芸術文化振興事業

(1) 出雲総合芸術文化祭事業

出雲市芸術文化振興指針（第2次）を基本としたうえで、「本物志向と住民参加」をテーマとする出雲総合芸術文化祭事業は、優れた芸術作品や芸術家を招致する鑑賞事業及び実行委員会が主体となった自主事業等に幅広く取り組みました。

鑑賞事業のうち、次世代鑑賞者育成事業では、子供から大人まで楽しめるオペラの人気演目「森は生きている」を取り上げたことから満席となり、若い世代の鑑賞能力の向上及び芸術文化の担い手の育成につながったものと考えています。

また、伝統芸能への理解を深めるよう初めて企画した「万作の会」狂言公演は、幅広い層に好評を博し、同じく古典ジャンルで早期に完売となった春風亭昇太独演会は、満場の笑いでその魅力を堪能いただきました。

音楽の部門では、日本を代表するフルート奏者の工藤重典スペシャルコンサート、「宝くじまちの音楽会」岩崎宏美 with 宗次郎は、いずれも地元の演奏家、合唱団とのコラボレーションが生まれ、地域の音楽文化の振興に寄与しました。

一方、平成26年度から進めてきた日本舞踊の魅力を伝える取組は、集大成とする出雲伝統芸能プロデュース公演2017「日本舞踊の魅力+（プラス）」の上演によりプロの舞踊家と地元舞踊家による創作舞踊を実現させ、所期の目的を果たすことができました。

これらの集客については、様々なメディアを活用した広報に努め、また参加者にあわせた料金設定等により収入の確保を図りました。

自主事業については、文化庁の「劇場・音楽堂等活性化事業」（H27～H29年度）の助成を活用して、2週にわたって「出雲の春音楽祭2018」に取り組みました。このうちVol.1では、昨年に引き続き出雲オペラとしてコンチェルト・オペラ形式によるハイライト公演、歌劇「ドン・ジョヴァンニ」、同じく昨年からは始まった大プロジェクト《連作交響神楽》の第二番「遠呂智（ヲロチ）」及び第三番「羅摩船（カガミノフネ）」を上演し、いずれも好評で次回への期待を高めました。Vol.2では、邦楽合奏及び2年に1度歌い継がれる出雲讃歌をいずれもゲストを迎えて熟演し、喝采を博しました。

その他、囲碁・将棋フェスティバル、音楽コンクールなどの事業は、地域の関係者が中心となって組織した実行委員会により着実に取り組みました。様々な経緯により継続している各事業は、アンケートや外部評価等を踏まえ、実施体制の整備や事業の改善を図りさらなる成果につながるよう努めます。

展示事業では、工芸展及び公募展を開催しました。工芸展については、近年著しい出品の減少傾向等を踏まえて、平成29年度をもって終了することとしました。

また、地域の芸術文化における人材育成を目指し、アートマネジメント研修や事業の

企画運営に係る実務研修を実施しマネジメント能力の向上を図りました。

このように事業の企画から研修の実施まで様々な視点から地域の芸術文化振興に取り組んでおり、今後も引き続き常に新しい分野、新しい要素を取り入れながら地域の文化力向上に努める考えです。

① 鑑賞事業

NO	事業名・概要	観客数等	事業費(円)	財 源 内 訳 (円)		
				入場料	助成金・ 雑収入等	負担金
1	オペラシアターこんにやく座 オペラ「森は生きている」 7月2日(日)、大社うらら館 次世代鑑賞者育成事業	574人	3,089,933	1,590,000	3,990	1,495,943
2	万作の会 狂言公演 7月26日(水)、出雲市民会館 出演：野村万作、野村萬斎ほか	949人	6,458,820	5,133,500	—	1,325,320
3	工藤重典スペシャルコンサート 9月24日(日)、ビッグハート出雲 チェンバロ奏者リチャードシーゲル 地元演奏家との共演あり	224人	1,870,018	903,000	4,037	962,981
4	宝くじまちの音楽会 岩崎宏美 With 宗次郎 11月10日(金)、出雲市民会館 地元合唱団との共演あり	1,139人	2,365,886	2,337,500	16,042	12,344
5	春風亭昇太 独演会 2月11日(日) 平田文化館 出演：春風亭昇太、三増紋之助ほか	654人	2,288,206	2,387,000	7,770	△106,564
小 計		3,540人	16,072,863	12,351,000	31,839	3,690,024

② 自主事業

NO	事業名・概要	観客数等	事業費 (円)	財源内訳(円)		
				入場料・ 参加料等	助成金・ 雑収入等	負担金
1	将棋フェスティバル 7月30日(日)、出雲弥生の森 プロ棋士による指導対局、第7回里 見香奈杯ジュニア将棋大会 指導棋士：菅井竜也七段ほか	参加 114 人 (対局 43 人) (大会 71 人)	443,529	70,800	—	372,729
2	出雲囲碁フェスティバル 8月5日(土)、大社うらら館 親子入門教室、ジュニア指導対局、 第15回出雲ジュニア囲碁大会 指導棋士：桑本晋平七段	参加 67 人 (対局 14 人) (大会 53 人)	314,643	35,400	—	279,243
3	伝統芸能プロデュース公演 2017 9月3日(日)、出雲市民会館 日本舞踊家による古典舞踊の実演と 市民参加型の舞踊公演	参加 16 人 入場 657 人	5,886,523	1,464,500	1,260,000 (文化庁)	3,162,023
4	第16回いずも音楽コンクール 11月25日(土)、26日(日) ビッグハート出雲 小中学生を対象とした歌唱、弦楽器、 ピアノ部門のコンクール	参加 167 人 入場 430 人	774,108	163,000	—	611,108
5	第16回いずも新春コンサート 1月7日(日)、ビッグハート出雲 クラシックを中心に地元出身の音楽 家による新春のコンサート	参加 28 人 入場 388 人	499,226	455,600	—	43,626
6	出雲の春音楽祭 2018<Vol.1、2> 3月18日(日)、大社うらら館 オペラハイライト、交響神楽 3月25日(日)、大社うらら館 邦楽合奏、出雲讃歌合唱	参加 138 人 入場 466 人 参加 129 人 入場 415 人	9,360,783	1,593,100	2,443,000 (文化庁)	5,324,683
小計		参加 659 人 入場 2,356 人	17,278,812	3,782,400	3,703,000	9,793,412

③ 共催事業

NO	事業名・概要	観客数等	事業費 (円)	財源内訳(円)		
				入場料・ 参加料等	助成金・ 雑収入等	負担金
1	第15回サウンドフェスタ大心路 9月3日(日)、ビッグハート出雲 出雲地域で活動する音楽家やダンス チームによるライブ	参加 67 人 入場 270 人	400,000	—	—	400,000

2	第9回出雲神在月市民芸術文化の祭典 10月15日(日)、平田文化館 市内の芸術団体が集い、各地域の伝統芸能や創作芸能を披露	参加 225 人 入場 643 人	1,500,216	—	—	1,500,216
小 計		参加 292 人 入場 913 人	1,900,216	—	—	1,900,216

④ 展示事業

NO	事業名・概要	観客数等	事業費 (円)	財 源 内 訳 (円)		
				入場料・ 参加料等	助成金・ 雑収入等	負担金
1	平成29年度公募展優秀作品展 3月9日(金)～11日(日) 出雲文化伝承館 出雲文化工房 各公募展での優秀作品を展示	488 人	301,089	—	—	301,089
2	出雲市美術展第19回工芸展 3月9日(金)～11日(日) 出雲文化伝承館 出雲文化工房 一般市民が制作した素材を生かした 個性豊かな作品を多数展示		39,985	20,000	—	19,985
小 計		488 人	341,074	20,000	—	321,074

⑤ 人材育成事業

NO	事業名・概要	参加者数 等	事業費(円)	財源内訳(円)		
				入場料・ 参加料等	助成金・ 雑収入等	負担金
1	アートマネジメント人材育成事業 ①「オペラ・舞踊コース」 8月11日(金祝)、ビッグハート出雲 講師：椿 照子 ②「企画制作コース」 8月11日(金祝)、ビッグハート出雲 講師：柴田英紀	24 人 17 人	192,683	5,000	62,000	125,683
2	人材養成交流(職員派遣)事業 派遣先：日本オペラ振興会(9日間) アルモニーサンク北九州ソレイユホ ール(10日間) 派遣職員：長岡知穂	1 人	453,792	—	205,000	248,792
小 計		参加 41 人 派遣 1 人	646,475	5,000	267,000	374,475
全体管理費(出雲総合芸術文化祭全体管理経費) プロデューサー経費含			2,384,710	—	200,069	2,184,641
合 計		8,290 人	38,624,150	16,158,400	4,201,908	18,263,842

(2) 出雲芸術アカデミー事業

出雲芸術アカデミーは、「音楽のまち出雲」の推進に向け、講座運営、演奏会活動、アウトリーチ活動等の事業に積極的に取り組みました。取組に際しては、継続的・安定的に実施できるよう、文化庁「劇場・音楽堂等活性化事業」の助成（平成 27～29 年度）も活用しながら、推進委員会、企画会、教授会、指導者会等において検討協議を重ね、市民が身近に演奏に触れ、親しむ機会の増大を図るとともに、次代の芸術文化の担い手の育成に力を入れました。

一方、子供の習い事の多様化や、就労する保護者の増加に伴う生活環境の変化などから受講生の減少傾向が続いており、講座の新設や無料体験講座の開講、魅力あるプログラムへの改善など対策を講じ、受講生の確保に全力で取り組んでいます。

演奏会活動では、出雲フィルハーモニー交響楽団及び出雲 Jr. フィルを中心に 5 つの演奏会を開催し、それぞれ好評を得ました。このうち、出雲フィルハーモニー交響楽団創設 20 周年記念第 21 回定期演奏会では、チャイコフスキー作曲「白鳥の湖」等ポピュラーな選曲で、来場者、出演者両方が魅力を感じる演奏を提供することができました。

また、出雲 Jr. フィルは、東広島市くららジュニアオーケストラとの交流演奏会に出演し、お互いの親睦を図り、演奏技術を高め合うとともに、県外の皆さんにもアカデミー活動の成果を披露することができました。

普及啓発事業では、演奏家が直接出向くアウトリーチ活動を市内保育所、幼稚園、小学校、病院及び福祉施設 30 か所で実施しました。生の演奏に触れていただくことで、日頃、演奏会場へなかなか来場できない方、音楽芸術に接する機会の少ない方の興味、関心を喚起できたものと思います。また、市役所ロビーコンサート、依頼による演奏家の紹介及び演奏のコーディネートなどの事業にも積極的に取り組みました。生の演奏を届け、多くの市民の皆さんに楽しんでいただくとともに、アカデミー活動のPRなど広報活動に努めました。

今後も演奏活動を担う「出雲フィル」を核として、人材育成活動の「音楽院」、学術研究活動の「音楽研究院」が一体となった魅力的な事業を展開し、地域に根ざした芸術文化の振興を図ります。

① 講座（平成 29 年 4 月～平成 30 年 3 月）

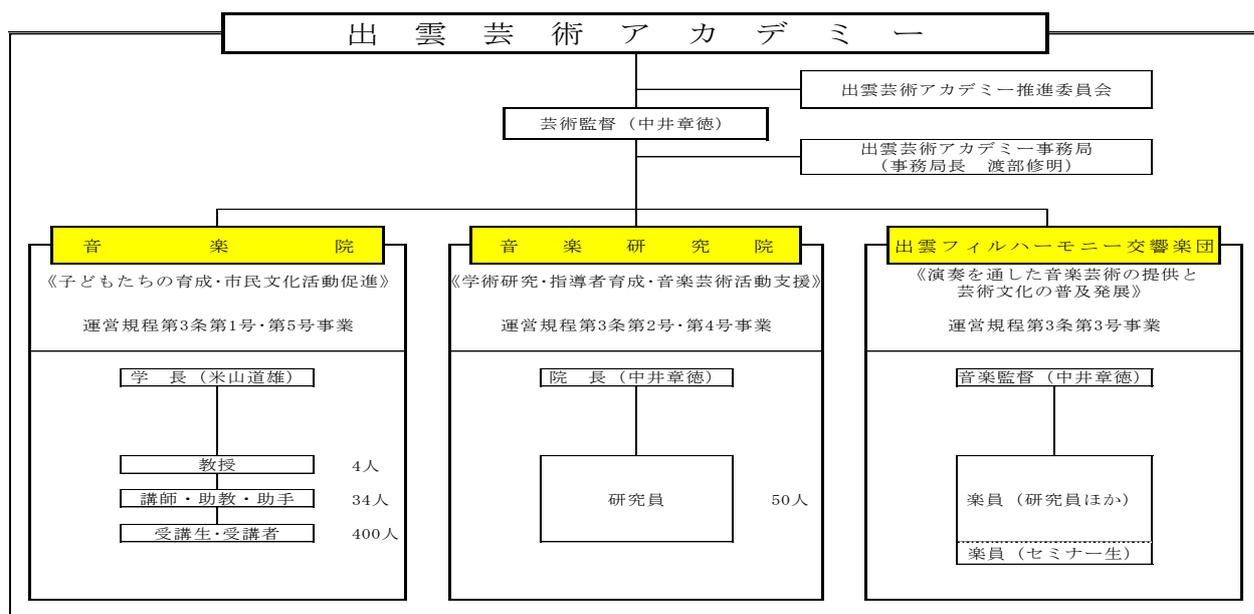
科・コース名 講座名	対象	受講者数	回数	受講料
幼児科・音楽入門（親子）	幼児と保護者	94 人（47 組）	年間 20～22 回	月 2,000 円
ポップ	3 歳児	8 人（4 組）		

	ステップ	4～5 歳児	60 人(30 組)		
	ジャンプ	6 歳児	26 人(13 組)		
	科・コース名 講 座 名	対 象	受講者数	回 数	受講料
本科			176 人	年間 40～44 回	
	音楽入門	小 1～3	23 人		月 2,500 円
	合唱	小 4～高 2	40 人		月 2,500 円
	オーケストラ	小 1～高 2	113 人		
	入門	初心者	24 人		月 5,000 円
	オーケストラ	経験者	89 人		月 3,500 円
別科・合唱/(新)ホラ/オーケ ストラ/邦楽			158 人		
	コーラスパート	18 歳以上	67 人	月 3 回程度	月 2,500 円
	(新)アコーディオン・クラリネット		19 人	月 2 回程度	月 2,000 円
	オーケストラパート		50 人	月 2 回程度	月 3,000 円
	邦楽合奏		22 人	月 1 回程度	月 1,500 円
3 科合計			428 人		
特別講座			11 人		
	ジュニア日本文化講座	小 1～高 2	8 人	月 2 回程度	月 2,000 円
	舞踊アンサンブル		3 人		
	箏曲アンサンブル		5 人		
	チェロ体験教室		3 人	月 2 回程度	—
受講者合計			439 人		

② 演奏会等

NO	事業名・概要	観客数等	事業費 (円)	財 源 内 訳 (円)		
				入場料・ 参加料等	助成金・支 援金等	補助金・ 自主財源
1	第 12 回ファミリーコンサート (会場:大社文化プレイスうらら館) 開催日:4 月 16 日(日) 内容/本科リトミック・合唱・オケ、 別科合唱による演奏	参加 194 人 入場 496 人	1,449,945	465,400	421,000	563,545
2	出雲フィルハーモニー交響楽団 創設 20 周年記念 第 21 回定期演奏会 (会場:出雲市民会館) 開催日:7 月 17 日(月・祝) 創設 20 周年記念演奏会及びセレモ ニー実施 オーケストラセミナー実施 7/15～	参加 92 人 入場 807 人	3,501,556	1,161,600	941,000	1,398,956
3	出雲 Jr. フィル プロムナードコンサート V (会場:大社文化プレイスうらら館) 開催日:11 月 12 日(日) ジュニア単独コンサート	参加 101 人 入場 472 人	2,039,018	673,600	809,000	556,418

4	出雲 Jr. フィル・東広島市くらはら ジュニアオーケストラ交流演奏会 (会場:東広島市くらはらホール) 開催日:12月24日(日) 地域間交流事業(2回目)	参加72人 入場800人	2,016,810	720,000	410,000	886,810
5	うたなかまコンサート2018 (会場:大社文化プレイスうらら館) 開催日:1月28日(日) 幼児科で学ぶ親子のステージと、 講師のステージによるコンサート	参加92人 入場383人	649,132	182,800	—	466,332
6	アウトリーチ 音楽&音楽家の出前2017 会場:市内保育所・幼稚園・小学校、 病院・福祉施設等 開催日:9月~2月 講師による演奏を市内の30施設で 実施	2,101人	1,205,849	—	338,000	867,849
合 計		5,610人	10,862,310	3,203,400	2,919,000	4,739,910



(2018年2月現在)

(3) 出雲メセナ協会事務局に関する事務

出雲メセナ協会の事務局として、文化団体への財政支援事業(11事業)、市内の小学校への芸術家派遣事業(4事業)等を実施しました。

また、財団と共催で実施した、万作の会狂言公演、出雲伝統芸能プロデュース公演2017日本舞踊の魅力+(プラス)には、362名の会員の鑑賞がありました。

会員は、226会員(602口)で、3会員の減(平成30年3月31日現在)となりました。

2. 博物館事業（出雲文化伝承館・平田本陣記念館）

出雲文化伝承館と平田本陣記念館の博物館事業では（1）展示事業、（2）出雲和文化交流会事業、（3）郷土資料調査活用事業、（4）呈茶事業、（5）文化財保存公開事業を行いました。展示事業では、市民の皆様や来館者の皆様に日本や出雲地方の優れた芸術文化、歴史等を紹介し、その他の事業でも伝統文化などに触れていただくとともに、あわせて郷土の魅力再認識していただくことを目標に事業を行いました。博物館事業により出雲文化伝承館、平田本陣記念館の利用をより推進し、施設を十分に活用するよう努力しました。

展示事業については、伝承館では「交流 35 周年 出雲市友好交流都市 津山市・諫早市三市交流展」をはじめとする 7 つの展覧会を行い、本陣記念館では「水森亜土展」など 6 つの展覧会を開催しました。両館の観覧者等の総数は 13,387 人でした。とくに三市交流展は初めての三市博物館による事業で、市民間の文化交流に貢献しました。

また和文化交流会事業では、15 回目となる「出雲和文化まつり」を伝承館で開催し、いけ花展示などのほか、特産品の販売などを行い、広く和文化の発信と普及につとめました。このたびは参加券に抽選券を付与し、さらにクラフト展も併催するなど集客を工夫するとともに、広告協賛を募るのなど財源の確保に努め、地域との密接な連携を図りながら事業を推進しました。参加者は約 2,500 人でした。

郷土資料調査活用事業では、館蔵の古文書を活用するため整理作業を行いました。

呈茶事業では両館で誘客に努め合計 4,329 人の利用があり、伝統文化の継承、普及に貢献しました。

文化財保存公開事業では、2 館の施設について館長等が説明にあたるなど、計 62 団体 1,672 人の利用がありました。特に本陣記念館での市内小学生対象の民具の解説は好評でした。

【出雲文化伝承館 入館者数】

	開館日数	本館入館者数			文化工房 入館者数
		総数	内個人	内団体	
29 年度	314 日	87,070 人	86,040 人	1,004 人	17,352 人

【平田本陣記念館 入館者数】

	開館日数	入館者数
29 年度	308 日	18,624 人

(1) 展示事業

出雲文化伝承館では7回、平田本陣記念館で6回の展覧会を開催しました。

伝承館では「インドネシア染織の世界」、「大野明山木彫展」、「洋画家 原孝夫展」、「郷土の洋画家展」、「交流 35 周年 出雲市友好交流都市 津山市・諫早市三市交流展」、「屏風と出雲の大国さま」、「現代日本画 巨匠 30 人展」(30 年度継続事業)を開催しました。

本陣記念館では「水森亜土展」、「郷土ゆかりの南画家展」、「石原豪人展」、「錦織恭一展」、「写真家 古川誠×ポスター展」、「マツオヒロミ展」(30 年度継続事業)を開催しました。

これらの内容は郷土関係を中心に、日本の優れた美術工芸、また写真、デザイン、イラストなど広い分野にわたります。

引き続き出雲ゆかりの美術工芸、歴史等の資料調査と研究を進めながら、展覧会を企画するよう努めます。

また観覧者の意見を反映してリピーターを増やすため、アンケートの実施(伝承館 433 枚・本陣記念館 877 枚)や「ご縁カード」(伝承館 新規発行数 473 枚)を発行するとともに、ホームページ、フェイスブック(更新 伝承館 49 回・本陣記念館 11 回)などで情報発信するなど集客に努めました。

今後も、博物館事業のミッションと収益のバランスをはかりながら、事業の集中と精選、関連事業の開催などに努め、より魅力ある展示事業に取り組みます。

① 出雲文化伝承館は展覧会を7回開催し、観覧者等の合計6,513人でした。

展覧会名 展示内容・関連事業等	会期	観覧者数	観覧料	観覧料収入
海のシルクロードに花開く 「インドネシア 染織の世界」 日本の緋の源流となるインドネシアのイカットや伝統のパティックなどを紹介。約 200 点を展示。	4 月 1 日～ 5 月 14 日 39 日間	675 人 (28 年度 812 人)	一般 700 円 高校生以下無料	277,500 円
・ギャラリートーク 1 回 戸津正勝氏	4/23	(42 人)		
・記念講演会 ①「インドネシアでの生活を通して」 河内幸男氏 ②「海のシルクロードに花開いた民族服飾の世界」 戸津正勝氏	4/23	80 人		

・バリ舞踊鑑賞会 嵐谷洋子氏 1回	4/16	50人		
・ワークショップ 「はぎれを使って袱紗や小物入れを作ってみませんか」山根澄枝氏	4/29	40人		
「生誕120年 大野明山木彫展」展 —明山と郷土の木彫— 出雲市芦渡生まれの木彫家大野明山の初期から晩年までの作品と郷土のゆかりの木彫家作品を紹介。88点を展示。	6月3日～ 7月9日 32日間	933人	一般 600円 高校生以下無料	352,800円
・トーク 2回 大野明子氏・副館長	6/11, 18	(156人)		
「洋画家 原孝夫展」 出雲市に生まれ、国鉄に勤めながら洋画を描き続け、また大社地域の文化振興に尽くした氏の業績を紹介。20点。	6月20日～ 7月2日 12日間	1,018人	無料	—円
「郷土の洋画家展」 明治以降に出雲で活躍した洋画家たちを紹介。29人の35点を展示。また2016年に日展で特選を受賞された春日裕次氏の作品も紹介。	7月22日～ 9月10日 44日間	641人	一般 600円 高校生以下無料	169,700円
・ギャラリートーク 1回 北本雅己氏	7/30	(14人)		
・対話型鑑賞会 4回 みるみるの会講師	8/6、12、20、 9/2	(58人)		
交流35周年「出雲市友好交流都市 津山市・諫早市 三市交流展」 昭和56年に始まった三市の交流をより深めるため、津山郷土博物館、諫早市美術・歴史館の協力を得て、二市の歴史と文化を紹介。約40点の展観。記念誌を刊行。	10月14日～ 11月26日 38日間	1,465人	一般 500円 高校生以下無料	466,700円
・記念式典 来賓 参議院議員 片山虎之助氏、津山市長 宮地昭範氏、諫早市長 宮本明	10/14	(60人)		

雄氏、出雲市議会議長 福代秀洋氏ほか				
・記念講演会 藤岡大拙氏 「日本遺産に認定された 日が沈む聖地の背景」 ・パネルディスカッション 「出雲市、津山市、諫早市の歴史と文化」 藤岡大拙氏、尾島治氏、下川達彌氏、 岡宏三氏、石原美和氏	10/29	70 人		
「新春 屏風と出雲の大国さま」 初春を寿ぎ、吉祥の屏風と出雲大 社の大国主命の民間信仰の広がり を紹介した。あわせて御師や富く じ資料も展示。54 点を展示。	1 月 4 日 ～2 月 18 日 42 日間	583 人	一般 600 円 高校生以 下無料	180,800 円
・ギャラリートーク 3 回 副館長	1/7, 21, 2/4	(26 人)		
・講演会「平安の笛の世界」 笹本武志氏	2/17	70 人		
現代日本画 巨匠 30 人展 佐藤美術館コレクション 花と緑の名品 現代日本画を代表する作家の花と 緑をテーマとした 30 点を展示。東 京、佐藤美術館の館蔵品から。	3 月 24 日～ 31 日 7 日間 (30 年度継続 事業)	888 人	一般 800 円 高校生以 下無料	402,000 円
・ギャラリートーク 1 回 立島恵氏 佐藤美術館理事・学芸部長	3/24	(70 人)		
小 計	214 日	6,513 人		1,849,500 円
その他事業収入 (図録、参加費等)				279,110 円
民間補助金				130,000 円
合 計				2,258,610 円

※ () は観覧者に含む

出雲文化工房 展示室 (無料)

平野勲 ・塩冶太平記 ・出雲駅伝原画 ほか	314 日間	17,352 人
-----------------------------	--------	----------

② 平田本陣記念館は展覧会を6回を開催し、観覧者等の合計は6,874人でした。

展覧会名 展示内容・関連事業等	会期	観覧者数	観覧料	観覧料収入
「水森亜土展」 水森亜土の、絵本やイラストの原画、グッズコレクション、公演ポスターなど約330点を展示。	4月8日～ 5月14日 32日間	3,365人	一般600円 高校生以下無料	1,299,000円
「郷土ゆかりの南画家展」 郷土ゆかりの南画家の作品を館蔵品を中心に展示。掛軸、屏風、工芸など約37点を展示。	6月3日～ 7月30日 50日間	298人	一般600円 高校生以下無料	118,000円
「石原豪人展」 出雲市大社町出身の戦後日本を代表する挿絵作家、石原豪人の原画、印刷物、遺品など約550点を展示。	8月11日～ 10月15日 57日間	1,425人	一般600円 高校生以下無料	602,800円
「錦織恭一展」 出雲市出身の洋画家、錦織恭一の作品約50点を展示。	11月3日～ 1月21日 64日間	777人	一般600円 高校生以下無料	307,800円
「写真家 古川誠×ポスター展」 出雲市在住の写真家古川誠氏の写真を使ったポスターを紹介、ポスター、パンフレットなど約180点を展示。	2月17日～ 3月18日 26日間	701人	一般600円 高校生以下無料	231,200円
・プロが教える「写真」とは何か！ 古川誠氏	2/24	(30人)		
「マツオヒロミ展」 松江市出身で岡山を拠点に活躍中のイラストレーター、マツオヒロミ氏の作品等紹介、約190点を展示。	3月31日 1日間 (30年度継続事業)	308人	一般600円 高校生以下無料	93,300円

では木佐家文書の整理を行いました。

(4) 呈茶事業

おもてなしとお茶の文化が大切にされてきた出雲において、茶道、伝統文化の継承と普及を図るため、伝承館では「松籟亭」で、本陣記念館では「庭園鑑賞ホール」で呈茶事業を行いました。本年度の利用者は両館とも誘客に努め、伝承館では3,131人、本陣記念館では1,198人でした。とくに伝承館では、三市交流展にあわせ津山市、諫早市の菓子で呈茶を行い好評でした。（呈茶事業収入伝承館 1,134,070円・本陣記念館 334,640円）

(5) 文化財保存公開事業

① 文化財保存公開

出雲文化の伝統を象徴する伝承館の「出雲屋敷・出雲流庭園」（出雲市指定文化財）、茶室「松籟亭」と「独楽庵」、また本陣記念館の「御成門・御成座敷」と「出雲流庭園」（米国専門誌で32位と紹介）、茶室「悠々庵」の公開と活用を図っていますが、両館とも開館30年近くを経過して施設の老朽化が進行しており、年々修繕費が増加しています。館内の建築物や庭園は、一体となった落ち着いた景観を維持する必要があり、より一層適正な管理に取り組みます。

本年度は台風と大雪のため出雲屋敷などに若干の被害がありました。また伝承館の独楽庵は平成30年4月から貸出施設になることから修繕を進めました。

② 団体利用

伝承館では県内外高校、専門学校の利用が3回195人で、出雲屋敷・庭園見学、茶室体験等で利用されました。一般は文化サークルや、福祉団体、女性団体、社会教育団体、事業所などの研修会等において館長、副館長、係長などが講師となり17回522人に講話や説明を行いました。

本陣記念館での市内小学校対象の館長による民具解説は好評で、12校（18回）669人の利用がありました。また老人会、社会教育団体、福祉団体など30回、286人の利用があり幅広い利用促進に取り組みました。

③ 博物館資料の寄贈

本年度の伝承館への寄贈作品等は4件ありました。（ア）樗大衝立 1面、（イ）大野明山作 木彫作品 19点、（ウ）大森栄八郎作 油絵「薔薇」 1点、（エ）佐々木英子作 風炉先屏風「八雲の里」（ちぎり絵）1点。

本陣記念館への寄贈は5件でした。（オ）小村大雲筆 「達磨」 1面、（カ）小村大雲筆「親子虎」 襖 2面、（キ）錦織恭一作 油彩「作品」 1点、（ク）錦織恭一作 「漁村」

1点、(ケ)宮本燾充作 油絵「電話ボックス」 1点

近年では郷土の貴重な文化財が破棄され、また流出しています。今後も地域の貴重な史料や美術工芸品などの保護につとめ、あわせて博物館資料を充実させて参ります。

④ 収蔵資料の貸出・特別利用

収蔵品の貸出や特別利用（熟覧、撮影、写真貸出等）等を行い、その適正な活用と管理に努めました。とくに不昧公 200 年祭の関係で、申請が増えました。

【出雲文化伝承館】

申請日	資料貸出・特別利用	貸出先・調査者等	資料名等
4月19日	印刷物掲載	松江市歴史まちづくり部史料編纂課	不昧正室肖像、書双幅
6月5日	撮影、熟読、印刷物掲載	出雲弥生の森博物館	写真「出雲古図」、 往古簸川西流図
6月5日	撮影、写真使用	出雲弥生の森博物館	写真「出雲古図」
7月21日	印刷物掲載	田部美術館	独楽庵
7月24日	印刷物掲載	出雲市日本遺産推進協議会	白糸威鎧(復元)
8月23日	印刷物掲載	品川歴史館	独楽庵
11月2日	資料貸出	多伎文化伝習館	作者不詳「籬豆秋風図」、 久戸瀬春洋「漢詩」、錦織竹香「墨竹図」
12月20日	印刷物掲載	淡交社	出雲文化伝承館外観、 独楽庵
1月18日	展示備品貸出	西ノ島町教育委員会	鎧立て
3月5日	写真使用	スタジオニコフィルム	独楽庵
3月14日	印刷物掲載	淡交社	伊川院筆 不昧賛「出山 釈迦図」 漆壺斎「こぼれ梅棗」 如泥「桑梅花透手付煙草 盆」 独楽庵
3月20日	印刷物掲載	宮帯出版社	独楽庵 不昧正室 肖像
3月22日	熟覧	MATSUE 流の会	大谷忠次郎「お好み写し 桐煙草盆」

3月22日	印刷物掲載	安井杢工務店	独楽庵
-------	-------	--------	-----

【平田本陣記念館】

7月31日	写真使用	(株)ネクサス	小村大雲「順逆離合」「大楠公」
-------	------	---------	-----------------

⑤ 収蔵庫等の燻蒸、管理

両館の収蔵庫、展示室等の燻蒸、消毒を行い適正な管理に取り組みました。(伝承館9月、本陣記念館10月・2月)また、トラップによる害虫調査を行い虫害予防に努めました。

(6) その他 共催事業等

① 第26回早春の茶会

伝承館恒例の茶会で、茶道各流派の共催により開催しました。このたびは不昧公200年祭の先がけとして盛会でした。

事業名	内 容	会 期	参加者数
不昧公200年祭 第26回 早春の茶会	伝承館恒例の茶会。三斎流、不昧流不昧会、表千家、裏千家による茶会を開催。伝統文化の正しい理解と地域文化の振興に努めた。	3月24日・25日	1,095人 (前年度1,049人)

3. 貸館事業

(1) 概況

出雲市民会館、ビッグハート出雲、平田文化館、大社文化プレイスうらら館、出雲文化伝承館、平田本陣記念館の六つの文化施設について、平成28年度からあらためて出雲市の指定管理者として施設の管理運営を担い、別添(8)貸館事業資料のとおりご利用いただきました。

管理運営にあたっては、利用者とのコミュニケーションを深めながら施設の特性や地域性を活かした貸出し等を提案するなどご要望にお応えし、また、施設設備の老朽化に伴う修繕、改修にも即応しつつ、適切な維持管理に努めてまいりました。

このようななか、平成29年度の貸館事業全体の利用料収入は101,262,970円、前年度比5,894千円余り減少しました。その主な減少要因は、出雲市民会館大ホール耐震改修工事のため、平成30年1月から大ホールの利用を休止したことなどによることです。

また、施設の貸出し状況については、大社文化プレイスうらら館が市民会館大ホールの利用休止の影響で、少しばかり利用回数が増加したものの、全体では、市民会館大ホールの利用休止及び平成27年10月からの利用料金改定の影響もあり利用回数合計7,407回、前年度比△365回、4.7%の減、利用人数合計は、310,143人、前年度比△6,931人、2.2%減少しました。

今後、一層利用者ニーズの把握に努め、芸術文化事業の公演情報の早期入手や施設の利用方法の提案などにより多くの皆さんにご利用いただけるよう努めてまいります。

なお、市内の中学校、高等学校の吹奏楽部、合唱部などの利用は活発であり、当財団としても、公益財団法人として、学校教育の一環としての利用については施設、設備利用料金の5割を減免し、ご期待にお応えするとともに、「音楽のまち出雲」の推進に大きく貢献しているところです。

それぞれの施設の貸出しの状況については、次の(2)以下に記載するところですが、「貸館事業」としては、芸術文化振興事業及び博物館事業の事業実施舞台として、芸術文化団体等が行う発表会・講演会及び練習等に広く一般市民に貸し出し、芸術文化の振興及び伝統文化の伝承に寄与する「公益目的事業」と営利を目的とする大ホール等の利用や物販等の利用のために貸し出す「収益事業」があります。

その割合は、概ね8割が「公益目的事業」、残り2割が「収益事業」に分類され、その収支は次の通りです。(公益財団法人認定申請における過去の利用実績分析による。)

貸館事業の収支状況

(単位：円)

区	分	収 入	費 用	収支差額
貸館事業	公益目的事業	251,234,334	261,207,993	△9,973,659
	収 益 事 業	75,071,030	60,227,591	14,843,439
	合 計	326,305,364	321,435,584	4,869,780

(2) 出雲市民会館

出雲市民会館は県内でも有数の高い専門性を備えた劇場として、また出雲市のメインホールとして様々な事業が行われました。当財団が主催しました出雲総合芸術文化祭事業では、万作の会狂言公演、出雲伝統芸能プロデュース公演 2017「日本舞踊の魅力+ (プラス)」、「宝くじまちの音楽会」岩崎宏美 with 宗次郎などの会場として、また音楽のまち出雲にふさわしく市内の中学校、高校の吹奏楽部・合唱部、出雲吹奏楽団をはじめ各種楽団の演奏会の会場として、その他コンサート、演劇、式典、講演会、研修会と広くご利用いただきました。

平成 29 年度における利用状況は、利用者数は大ホールが 72,572 人で前年度比△7,705 人、9.6%の減となり、施設全体では、108,928 人となり、同じく△8,737 人、7.4%の減となりました。

また、利用料収入は、39,323 千円で、前年度に比べ 4,582 千円、10.4%の減収となっています。

これは、大ホール耐震改修工事に伴い平成 30 年 1 月から 9 月まで利用休止となったため、大ホールに併せて会議室を借りる利用形態に影響が出たり、工事の騒音が会議室に弊害をもたらす日を特定し、予め貸出しを控える対策をとったことが主な要因となっています。

今後、利用者のニーズを考慮しつつホームページのリニューアル等情報提供を充実させ、多くの方にご利用いただけるよう取り組みます。

(3) ビッグハート出雲

ビッグハート出雲では、芸術文化活動の外、様々な団体の会議や研修などに利用していただきました。

平成 29 年度の利用者数は 82,098 人で前年比 2.2%の減となりました。また、利用回

数も前年度より約 4.3%減少し 3,059 回になりました。

減少が大きいのは練習室、スタッフ控室、アートギャラリー等です。これは、条例改正による利用料金の引き上げ等により、定期的に利用していた団体・個人が撤退した影響が大きいと考えられます。最大の施設である白のホールでも、利用回数が約 5.1%減少しました。

利用料金は、前年比 0.8%減の約 272 千円減額し、約 32,241 千円となりました。このうち白のホールは、3.1%減の約 396 千円減額しました。

自主事業については、平成 29 年度も地域芸術文化活性化事業として実施しました。2 月 24 日・25 日、アートギャラリーを会場として、ビッグハート出雲文化サロン利用登録団体による手芸作品及び演奏を展示する「音と手仕事展 2018」を開催しました。

内容は、日本刺繍、樹脂粘土、絵手紙、パッチワークの手芸作品展示と体験コーナー、そして大正琴の演奏、混声合唱、クラリネットアンサンブルでした。市広報、新聞・チラシを始めとする各種メディアの活用や「ロコミ」により、二日間で約 400 人の入場者がありました。併せて実施したアンケートにおいても、手芸作品の細やかな手仕事の見事さや、演奏を高く評価するといった意見が多数を占めました。

参加者の多くは出雲市内からでしたが、松江市、雲南市、飯南町からの参加者もあり、アートギャラリーが手狭に感じられる盛況ぶりでした。

今後も施設、設備器具などの特徴や利用方法の説明など丁寧な対応に努めてまいります。

(4) 平田文化館

平田文化館は地域に根ざした文化交流の場として、コンサート、講演会、展示会及び諸会議等に広く利用いただいております。

また、文化の向上を図るため雲州平田文化協会及び加盟する 20 団体の活動を支援し、文化館を主会場としたイベント等を開催することにより地域の文化の中核施設としての役割を果たしてまいりました。

利用回数、利用者数はいずれも近年減少傾向にある中で、平成 27 年 10 月の利用料金改定の影響もあり、平成 29 年度はプラタナスホール（大ホール）におけるイベントの規模縮小などに加え研修会などでの会議室等の利用も減少し利用回数は前年度比 9.4%の減、利用者数も前年度比 4.3%の減となりました。

また、文化館全体の利用料収入も 7,110 千円で、前年度比 639 千円、8.2%の減となりました。

今後とも、多目的に利用できるプラタナスホールの特徴を活かし、また利用者の皆様方の意見も取り入れながら更なる利用の促進に努めてまいります。

(5) 大社文化プレイスうらら館

600席のだんだんホール及び200人の収容が可能なごえんホールを有する市内の中規模文化施設として、また、大社図書館との複合施設という特徴も活かした地域の文化活動の拠点として多くの皆様にご利用いただきました。

また、各種文化団体が実施する「たいしゃ芸術文化祭」の開催を支援し、大社地域における芸術文化の水準を高め、様々な活動への住民参加を促すよう努めてまいりました。

本年度は、平成30年1月から出雲市民会館大ホールの利用休止等に伴い下期の利用が増加し、前年度と比較すると利用回数、利用者数ともに増加となりました。

利用回数は、だんだんホールが159回で前年度比6%(9回)の増、全体では946回で前年度比5.9%(53回)の増となり、利用者数は、だんだんホールが35,557人で前年度比2.5%(854人)の増、全体では44,910人で前年度比1.8%(810人)の増となりました。

また、利用料金収入についても16,564千円と前年度より3.7%増の592千円増収となりました。

今後も、利用にあたってのご意見等を参考に業務改善を重ね、多くの皆様に満足してご利用いただけるよう努めてまいります。

(6) 出雲文化伝承館

① 貸館事業について

出雲文化伝承館では、縁結び交流館をはじめ出雲文化工房、出雲屋敷、出雲流庭園、茶室「松籟亭」など、それぞれが持つ多様な特色を活かした施設の利用促進に努めました。

平成29年度は、前年度に比べ、貸出回数は30回減少し合計1,118回で、利用料金収入は971千円減の5,616千円で14.7%の減収となりました。

減収となった主な要因は、縁結び交流館の利用回数94回の減と、それに伴う利用料金収入の減少や、前年度は企画展示室を貸し出し「高円宮妃久子殿下鳥の写真展」が開催されましたが、本年度は企画展示室の利用がなかったことなどが挙げられます。

一方で貸出施設の利用者の総数は36,322人で前年度比6,457人増加となりました。

その他の施設の利用状況は、出雲屋敷が49回増、出雲流庭園が31回増、松籟亭が11回減、陶芸窯9回減、実習室20回増となっています。

この中でも近年、出雲流庭園での婚礼写真等の撮影や出雲屋敷の貸出が増加傾向にあります。松籟亭の貸出は減となりましたが、松籟亭での呈茶利用者は昨年を大きく上回りました。

また、企画展示室の貸出利用はありませんでしたが、6つの特別展を開催して多くの

方々に観覧いただきました。

② 施設管理について

出雲文化伝承館は開館より 30 年近く経過し、施設・設備の老朽化が著しく見られ維持費も年々増加傾向にあり、日常点検を実施し随時修繕等の整備を行っています。特に本年度は、台風と大雪による被害が発生したため、より日常点検に努め、発見した要修繕箇所については、優先順位をつけ計画的に修繕等を行っています。

今後も日常点検に努め、適切な修繕、整備を行い来館者に安全で快適な施設となるよう維持管理を図ってまいります。

③ そのほか

平成 27 年度の利用料金改定による影響は続いており、現在の定期利用者や、新たな個人、事業所及び団体などの利用促進や、出雲文化伝承館のパンフレット配置箇所の増設に努めました。

縁結び交流館と出雲文化工房実習室、松籟亭、出雲屋敷などの組み合わせによる体験学習の問い合わせも増えており、そうした利用方法の具体的な提案にも取り組みました。平成 30 年 4 月から茶室「独楽庵」を貸出施設とするための準備を行いました。「独楽庵」を加えてこれまで以上に各施設の多様な特色を活かした提案を行い利用促進に努めていきたいと考えています。

今後も利用者の減少が懸念されるため、丁寧な対応・説明を心がけ引き続きお客様に気持ちよく利用いただけるよう、また新たなお客様を増やすよう努めてまいります。

（自主事業）

出雲文化伝承館では 11 のこども教室を開催し、あわせて幼稚園へ邦楽邦舞「ミニ鑑賞会」のアウトリーチを行いそれぞれ好評でした。大人対象では 3 つの講座等を開催し伝統文化の継承、芸術文化振興を図りました。なお出雲市文化協会より助成金をいただくなど財源確保に努力しました。

《教室・講座》

① こども対象

普段触れることが少ない伝統文化や芸術文化を楽しく学び、関心を深めることを目的に 11 の体験教室等を開催し、計 513 人の参加者がありました。

とくに通年教室の「こども和文化クラブ」では初めての企画として、保護者参加の合同修了式を 3 月に行い、それぞれが一年間の成果を披露して好評でした。中には 6 年間通った児童もおり上達しました。

② 文化講座（一般対象）

絵画教室など3つの講座等を開催し、計52人の参加者がありました。

① こども対象

ア【こども和文化クラブ】

	教室名	実施日	生徒数	参加費（円）	講師等
①	こども箏教室	月2回	3	2,500	出雲邦楽邦舞の会
②	こども日本舞踊教室	月2回	5	2,500	出雲邦楽邦舞の会
③	こども茶道教室	月2回	4	2,500	三斎流
④	こども生花教室	月1回	6	1,500	出雲市華道連盟 小原流
	小計		18	332,000	

イ【夏休み等のこども教室】

	教室名	実施日	生徒数	参加費（円）	講師等
①	水彩画教室 低学年	7月23日	24	500	正田裕子氏 房野伸枝氏 金谷直美氏
	水彩画教室 高学年	〃	38	700	
②	箏、日本舞踊体験 教室	7月26日 27日	7	500	出雲邦楽邦舞の会
③	やきもの教室	7月17日	23	1,000	糸賀正和氏 岡恵美子氏
	やきもの教室（親子）	8月1日	24	1,000	
④	和菓子づくり	7月30日	25	1,000	出雲菓子協会
	お抹茶体験教室				表千家
⑤	学校茶道合同茶会	12月10日	生徒142	無料	三斎流
			一般35	500	
⑥	いけばな教室	12月17日	12	1,200	出雲市華道連盟小原流
⑦	親子注連縄作り教室	12月17日	30	600	大坪弘衛氏 八幡和規氏
	小計		360	164,000	

ウ【幼稚園訪問ミニ鑑賞会】

	実施幼稚園	実施日	人数	参加費	講師等
①	平田幼稚園	2月15日	60	無料	出雲邦楽邦舞の会
②	荘原幼稚園	2月15日	75	無料	出雲邦楽邦舞の会

	小 計	135	—
--	-----	-----	---

② 文化講座（一般対象）

	講座名	実施日	人数	参加費	講師等
①	絵画教室	6月25日	一般36 高校生 以下1	1,500 ※高校生以下 無料	出雲市洋画連盟委員
②	陶芸教室	2月18日 3月4日 2回	15	1,500	糸賀正和氏 岡恵美子氏
	小 計		52	76,500	

参加費 合計	572,500 円
民間補助金	100,000 円
雑収入	121,320 円
自主事業収入合計	693,820 円

(7) 平田本陣記念館

① 貸館事業について

平田本陣記念館の貸館について、本館・展示館・茶室などそれぞれの施設が持つ特色を活かした活用を図るべく、施設の利用促進に努めました。貸館事業入館者数は3,045人で前年度比2,045人の40%の減となり、利用料収入は405,905円で前年度比23,834円の6%の減となりました。

利用者数及び利用料金の減収の要因として、平成28年度本館での1回の利用者が約2,000人ありましたが、平成29年度はこのような大口利用がなかったことが挙げられます。しかし、全体的な総入館者数は、18,624人で1,381人の増となりました。

今後、利用者増対策としては、丁寧な対応・説明を心がける事はもとより、貸館としての情報提供を積極的に行い、新たな利用者を増やすよう努めてまいります。

(自主事業)

① こども教室

普段触れることが少ない伝統文化や芸術文化を楽しく学び、関心を深めることを目的に4つの体験教室を開催し、64人の参加がありました。教室をきっかけとして記念館

に初めて来館された方もあり、教室、展示、建物を楽しんでいただけ、好評を得ました。

② 一般対象講座

文学講座では「文学作品の中の平田」と名付け、平田地域の魅力を5回にわたり学ぶ講座を開催しました。他にも2つの教室を開催し好評を得ました。

①こども教室、②一般対象講座集計

教室名	参加者	講師	参加費	備考
①カレー皿絵付け教室	1回26人	岩佐昌昭氏	1,200円	
①書道教室	1回15人	吾郷佳昭氏	500円	
①親子茶道教室	1回10人	吉田久里氏	500円	
①親子いけばな教室	1回13人	堀江美智子氏	1,200円	
②文学講座	5回42人	岡部康幸氏	500円	
②茶道教室	1回6人	吉田久里氏	500円	
②掛軸教室	1回13人	博物館事業部次長他	500円	
小計	125人			
参加費合計				89,800円
自主事業収入合計				89,800円

Ⅲ 収益事業

1. 貸館事業

収益事業に係る貸館については、営利を目的とするホールの利用や、物販等のための利用であり、その概況や施設別の状況は、Ⅱ公益目的事業 3. 貸館事業において一括して記載しています。

2. その他事業

(1) 物販事業

ア、平田本陣記念館

利用促進のため企画展示等の受託物販売や図録等を販売し、売上 53,783 円となりました。

イ、大社文化プレイスうらら館

貸館利用促進のため、切手類を販売し、売上は 255,540 円となりました。

(2) 大社図書館管理事業

出雲市立大社図書館は、大社文化プレイスうらら館との合築、複合施設であることから、その施設管理について、施設・設備管理、警備等の業務の一括管理や光熱水費、損害賠償保険料などの一括支払い、消耗品の交換・補充等を受託し、費用は、面積に応じて受託費として収入に計上しております。

IV 理事会及び評議員会の開催状況

〈第19回理事会〉

開催年月日：平成29年(2017)5月9日(火)

開催場所：出雲市民会館302会議室

1. 議題

- (1) 第1号議案 平成28年度(2016)公益財団法人出雲市芸術文化振興財団事業報告の承認について
- (2) 第2号議案 平成28年度(2016)公益財団法人出雲市芸術文化振興財団収支決算(貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録)の承認について
- (3) 第3号議案 平成29年度(2017)定時評議員会の開催について

2. 報告事項

- (1) 代表理事(理事長)報告
- (2) 業務執行理事(常務理事)報告
- (3) 「梶谷胖展一包括するかたち」の中止と代替展について
- (4) 任期満了に伴う評議員の選任について
- (5) 任期満了に伴う理事・監事の選任について
- (6) 財団職員体制について

〈第20回理事会(書面表決)〉

開催年月日：平成29年(2017)5月24日(水)

1. 議題

- (1) 第1号議案 理事長の選定について
- (2) 第2号議案 副理事長の選定について
- (3) 第3号議案 常務理事の選定について

〈第21回理事会〉

開催年月日：平成29年(2017)8月28日(月)

開催場所：ビッグハート出雲 黒のスタジオ

1. 議題

- (1)第1号議案 平成29年度(2017)公益財団法人出雲市芸術文化振興財団収支補正
予算(第1号)

2. 報告事項

- (1)代表理事(理事長)報告
(2)業務執行理事(常務理事)報告

<第22回理事会>

開催年月日:平成30年(2018)2月26日(月)

開催場所:出雲市民会館302会議室

1. 議題

- (1)第1号議案 平成29年度(2017)公益財団法人出雲市芸術文化振興財団収支補正
予算(第2号)
- (2)第2号議案 平成29年度(2017)特定費用準備資金の設定について(出雲 jr. フィ
ル・地域間交流演奏会)
- (3)第3号議案 平成30年度(2018)公益財団法人出雲市芸術文化振興財団事業計画
- (4)第4号議案 平成30年度(2018)公益財団法人出雲市芸術文化振興財団収支予算
- (5)第5号議案 公益財団法人出雲市芸術文化振興財団給与規則の一部を改正する規則
- (6)第6号議案 公益財団法人出雲市芸術文化振興財団準職員等就業規則の一部を改正
する規則
- (7)第7号議案 公益財団法人出雲市芸術文化振興財団育児・介護休業等に関する規則
の一部を改正する規則

2. 報告事項

- (1)代表理事(理事長)報告
(2)業務執行理事(常務理事)報告
(3)出雲文化伝承館 茶室「独楽庵」の新規貸出について
(4)職員の異動について

＜平成 29 年度定時評議員会（第 7 回評議員会）＞

開催年月日：平成 29 年(2017)5 月 24 日(水)

開催場所：出雲市民会館 302 会議室

1. 報告事項

- (1) 平成 28 年度(2016)公益財団法人出雲市芸術文化振興財団事業報告について

2. 議題

- (1) 第 1 号議案 平成 28 年度(2016)公益財団法人出雲市芸術文化振興財団収支決算
(正味財産増減計算書、貸借対照表、財産目録)の承認について
- (2) 第 2 号議案 公益財団法人出雲市芸術文化振興財団評議員 11 名の選任について
- (3) 第 3 号議案 公益財団法人出雲市芸術文化振興財団理事 13 名の選任について
- (4) 第 4 号議案 公益財団法人出雲市芸術文化振興財団監事 2 名の選任について

3. 一般報告事項

- (1) 第 17 回理事会決議（書面表決、平成 28 年 12 月 26 日）の報告について
 - ① 評議員会の招集について
- (2) 第 6 回評議員会決議（書面表決、平成 29 年 1 月 10 日）の報告について
 - ① 評議員 1 名の選任について
 - ② 理事 1 名の選任について
- (3) 第 18 回理事会決議（平成 29 年 3 月 13 日）の報告について
 - ① 公益財団法人出雲市芸術文化振興財団特定費用準備資金等取扱規則
 - ② 平成 28 年度(2016)公益財団法人出雲市芸術文化振興財団収支補正予算（第 2 号）
 - ③ 平成 28 年度(2016)特定費用準備資金の設定について（出雲市友好交流都市津山市・諫早市 三市交流展）
 - ④ 平成 28 年度(2016)特定費用準備資金の設定について（出雲 jr. フィル・東広島市くらはら jr オーケストラ交流演奏会）
 - ⑤ 平成 29 年度(2017)公益財団法人出雲市芸術文化振興財団事業計画
 - ⑥ 平成 29 年度(2017)公益財団法人出雲市芸術文化振興財団収支予算
 - ⑦ 公益財団法人出雲市芸術文化振興財団給与規則の一部を改正する規則
 - ⑧ 公益財団法人出雲市芸術文化振興財団準職員等就業規則の一部を改正する規則
 - ⑨ 公益財団法人出雲市芸術文化振興財団育児・介護休業等に関する規則の一部を改正する規則
- (4) 「梶谷胖展一包括するかたちー」の中止と代替展について

(5) 財団職員体制について

〈第6回評議員・役員合同会〉

開催年月日：平成29年(2017)8月29日(月)

開催場所：ビッグハート出雲 茶のスタジオ

1. 報告事項

(1) 平成29年度(2017)公益財団法人出雲市芸術文化振興財団収支補正予算(第1号)

(2) 事業進捗状況の報告等

① 芸術文化事業の進捗状況及び出雲芸術アカデミー事業について

② 博物館事業の進捗状況及び出雲市友好交流都市 津山市、諫早市三市交流展の事業計画について